



第46回 白糠町ロードレース大会

- ①開会式であいさつをする坂本会長
- ②選手宣誓をする春田さん(左)、安濃さん(中央)、山内さん
- ③快調なペースでコースを駆け抜ける選手たち
- ④ゴール前で力を振り絞る親子



④ゴール前で力を振り絞る親子
らご覧ください。

3月23日、白糠陸上競技協会(坂本勝雄会長)主催の第46回白糠町ロードレース大会が白糠町総合体育館前を発着に行われました。

本大会には、道東地方を中心に道内各地や遠くは東京都、神奈川県から577人が参加しました。

開会式では坂本会長が「少し肌寒いですが、最高のロードレース日和です。選手の皆さん、無理をしてけがをしないよう、楽しんでください」とあいさつしました。参加選手を代表して白糠陸上少年団の山内蒼大さん、安濃颯聖さん、春田優珠さんの3人が「日頃の練習の成果を発揮し、ロードレース大会で筋肉痛になったと言わないように頑張ります」と力強く選手宣誓をしました。

本大会は10kmと5km、3kmのコースで男女、年齢別、親子の12部門で競われました。大会の結果については、白糠陸上競技協会のホームページまたは上記二次元コードからご覧ください。



▲準優勝を報告した押久保さん(左)、松下さん(中央)、青木さん

全日本中学生バドミントン選手権大会

青木さん 押久保さん 松下さん 準優勝

3月21日から23日にかけて、広島県で開催された「第25回全日本中学生バドミントン選手権大会」で、青木一馬さん(白糠学園9年、CBCBC白糠所屬)、押久保太智さん(同)、松下一誠さん(同)が、見事準優勝を果たしました。

大会には、各都道府県の選抜チームが出場。1チーム男女各4人の計8人で構成され、試合は男子と女子の各シングルスとダブルス、男女混合ダブルスの5戦で、先に3勝したチームが勝利となります。

3人を擁する北北海道代表チームは、予選リーグを全勝、決勝トーナメントでは、1・2回戦ともに5試合目までもつれる接戦を制しました。決勝戦は、埼玉県に惜しくも敗

れたものの、堂々の準優勝を飾りました。北北海道代表の準優勝は初の快挙であり、3人は主力としてチームの勝利に大きく貢献しました。

4月8日、3人の選手が役場を訪れ、棚野孝夫町長、川島眞澄教育長へ大会の結果報告を行いました。

報告会では、青木さんが「毎試合チームに勝ち星をもってこれて素直にうれしい」、押久保さんは「勝利に貢献できず悔しい思いをした。この気持ちを糧に練習に励んでいきたい」と大会結果を述べました。CBCBC白糠主将の松下さんは「全中の個人としては、ダブルスと団体戦で2冠チームではシングルスも含めて3冠したい」と今後の抱負を述べました。

棚野町長は「白糠町、そして北海道のバドミントン界の快挙です。今後とも町として、支援していきます」と選手たちをねぎらいました。